

東京「駆け足めぐり」(2)

表参道から地下鉄に乗り六本木に向かった。六本木ヒルズには前に行ったことがあり、52階の展望台から東京の景色を眺めた。今回は旧防衛庁跡に開発が進められている「東京ミッドタウン」近くに行った。3月30日にオープンということで、近くから六本木ヒルズより高い超高層ビルを見上げるだけであった。六本木周辺がさらに変化しつつある感じだ。

すこし歩くと「国立新美術館」があった。斬新なデザインであり、オープン間もないこともあり、入口付近に人が多かった。六本木ヒルズには「森美術館」



もあり、このあたりは美術館など文化施設が集積するようになった。上野一体とともに、東京の新しい「文化ゾーン」となっていくのであろうか。「国立新美術館」の隣には、名前だけはよく聞く政策研究大学院大学の洒落た感じのキャンパスがあった。



六本木ヒルズまで歩いたが、どうも落ち着かないので、再び地下鉄に乗って築地に向かった。最近では東京に来ると、よく築地に足をはこぶ。市場や周辺の雰囲気にかかれることもあるが、やはりお目当ては美味しい寿司だ。この中央卸売市場＝築地市場の移転計画が問題になっている。移転先は江東区の東京ガス豊洲工場跡地だが、そこは有害物質によって高濃度に汚染されているという。

よく築地に足をはこぶ。市

移転後の築地市場跡地は、2016年の夏季オリンピックの「メディアセンター」の予定地という。都知事選も近いが、例の臨海副都心をはじめ東京の再開発には注意が必要だ。この11日に行われたシンポジウムの声明で「世界最大の食の市場を汚染地に移すことは、首都圏の住民だけではなく、日本人の食の安全を脅かす問題である」と述べている。私の東京行きの「楽しみ」を奪うことにもなる築地市場移転の成り行きを注視していきたい。



(2007年2月25日 記)